

神保町地域の まちづくり

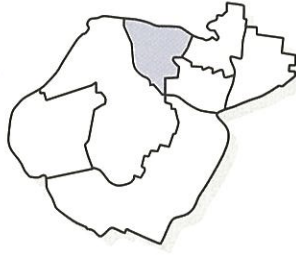


黒住佐賀二 「神保町街角」



畑一男 「神保町裏通り」

神保町地域の まちづくり



文化を創造・発信し、 多くの人々を引きつける、 にぎわいとふれあいにあふれたまち

神保町地域では、書店・古書店街や学生街など独特のまちの個性を活かしつつ、武道館やスポーツ用品店街などとの回遊性を高め、にぎわいにあふれたまちを目指します。

また、出版業・書店の集積を活かし最新の情報を発信するとともに、歴史・文化的たたずまいや下町的コミュニティの感じられるまちを目指します。

神保町地域の特性

地域の移り変わり

神保町地域は、江戸期には主として武家地となっていました。明治以降、大学・各種学校などの教育施設が多く建てられ、近隣の神田公園地域にも東京大学、高等商業学校（現一ツ橋大学）、学習院大学等の教育施設が多く立地したため、印刷・製本業や、古書店等が集積し、住商工の混ざり合った活気ある下町型のまちとして発展してきました。

関東大震災によって地域のほとんどが焼失し、震災後の復興区画整理事業によって靖国通り等の幹線道路が整備されました。また、戦災により市街地の大部分を焼失しましたが、古書店等を中心とした独特の雰囲気をもつまちとして発展を続け、多様な教育施設も立地しているため、人の流れの多い活気とにぎわいのあるまちとなっています。



現在の学生会館のあたりが
東京大学発祥の地

地域の現況

土地利用（土地の使われ方）

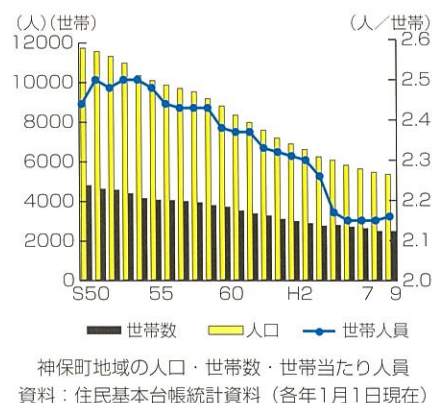
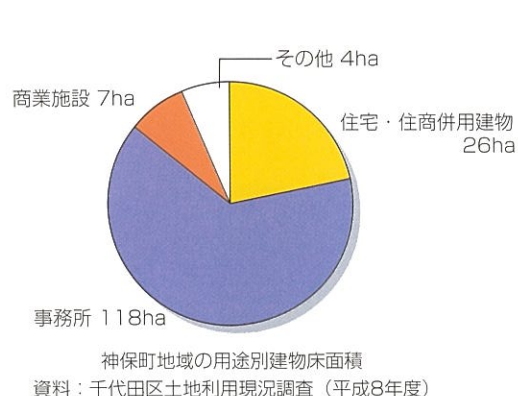
神保町地域は商業地域に指定されています。建物用途別床面積の割合をみると、事務所の利用が7割強を占め、業務地化が進んでいますが、神田の他地域と比べると住宅割合が比較的高く、複合市街地が形成されています。

住宅・住環境（住まいなどのようす）

神保町地域では近年夜間人口が減少し、昼間人口に対する割合は約30分の1になっており、丸の内地域を除くと、神田公園地域と並んで、区内でも低くなっています。また、高齢者の割合は20.7%となっています。（数字は平成9年現在）

住環境については、空間的なゆとりやうるおいに乏しい状況であり、また、職と住の近接する下町らしさも失われつつあります。

生活利便施設（生活必需品などを扱う店など）も減少し、住環境や暮らしへの影響が見られます。



業務・商業環境（オフィスや店舗のようす）

書店・古書店を中心とした商業、印刷・製本・出版業等の業務、大学等の教育施設によって、文化的な雰囲気のある商業・業務施設の集積地となっています。大規模オフィスによる公開空地の整備により、広場や緑地が創出されているものの、全体としては身近な緑や空地に乏しい環境となっています。

都市施設（道路、公園などのようす）

幹線系道路は概ね整備されていますが、それ以外は幅員の狭い道路も多くみられます。また、下町らしさの残る路地も見られます。なお、白山通りは幅員40mの都市計画道路としての整備が計画されています。

また、地域には大規模な公園・緑地がなく、身近な緑も乏しい状況にあります。

さらに、駐車スペースの不足等により、路上駐車が多く見られます。

市街地環境（景観、防災などのようす）

学生街、オフィス街、書店・古書店街、印刷・出版社街など多様な顔を持ち、様々な人々が訪れて活気のある街並みが形成されていますが、防災面からもオープンスペースや緑の重要性が高まっています。

地域のまちづくり資源

神保町地域において、守り、育て、活かすべきまちづくりの資源は…

古書店街や出版情報拠点等の存在

数多くの大学の立地によって、出版・印刷業、書店・古書店が集積し、文化教育の中心地となっています。

古書店街は全国的にも名が知られ、まちづくりの資源として重要です。

また、主要な産業でもある出版・印刷業の集積も、豊富な書籍を扱っているだけでなく、情報を扱う情報発信拠点ともいべき存在として重要であり、将来の活力ある地域のまちづくりに際しての貴重な資源です。

明大通り・靖国通りのまちのにぎわい

御茶ノ水駅から南へのびる明大通り沿いには学生向けの商店が集積しており、靖国通りの書店・古書店街や、スポーツ用品店街に向かう人の流れなどのにぎわいが見られ、まちに活気を与えています。

地形の高低差が生み出す独特の街並み

西神田地区や神保町・一ツ橋地区と、駿河台地区との地形の高低差や山の上ホテルなどの歴史的建造物は、坂、緑、眺望などの点で、独特の街並みをもたらしています。



にぎわいがみられる古書店



緑の多い明大周辺



予備校に通う学生のにぎわい

地域の重要課題

神保町地域のまちづくりに向けた重要課題は…

古書店街等の独自性を活かしたまちづくりと回遊性の向上

神保町の古書店の集積は全国的にも知名度が高く、地域のシンボルとして今後とも活かしていくとともに、情報発信産業としての出版・印刷業等の集積を今後とも活かし、独自性を持った地域産業の育成・振興を図っていくことが重要です。さらに近隣の後楽園、国立近代美術館、科学技術館、スポーツ用品店街等の魅力資源との回遊性を高めていくことも必要です。

神保町地域の まちづくり

緑と憩いの場の確保

西神田公園や錦華公園・神保町愛全公園を除くと、教育施設内の空地がいくつか点在している程度で、公園・オープンスペースが不十分な状況となっています。また、日本橋川の上部には高速道路が走るなど、うるおいに欠けた景観となっています。多くの人々が集う本地域にあって、快適な空間を提供したり、防災性の向上を進める面からも、緑と憩いの場の確保は重要です。

新たな「下町らしさ」の創出

かつての下町らしさは失いつつありますが、今後、居住人口を回復しつつ、昼間人口も含めた新たな地域コミュニティの形成、路地における魅力的な空間の維持・創出などにより、新たな下町らしさをつくっていくことが重要です。

文教地区にふさわしい良好な環境の保全・創出

明治大学をはじめとして、多くの教育施設を有する文教地区にふさわしい良好な環境としていくことが重要です。



緑と憩いの場として貴重な神保町愛全公園

広報によるハガキアンケートの声より

- ・大地震の際、高速道路やビルの倒壊の危険がなく、安心して避難場所の北の丸公園へ行けるよう、安全なまちづくりを考えて欲しい。(猿楽町在住・50代・女性)
- ・コミュニティを育むお風呂屋さんが近くにあるといいと思う。(三崎町二丁目在住・70代・女性)
- ・高齢社会をむかえるにあたって、年寄りがいきいきできるような地域にして欲しい。(三崎町二丁目在住・50代・男性)
- ・ビルの屋上に木を植えると温暖化も少しは和らぎ、鳥のさえずりも聞こえるようになる。西神田、神保町、三崎町は、緑が少ないので、西神田再開発地区はコンクリートで固めるだけでなく、土や樹木があり、動物達がいられる心安らく場所にして欲しい。(西神田在勤・40代・女性)

神保町街づくり協議会での討議より

- ・坂を活かした景観づくりが必要である。
- ・世代間の交流が促進されるよう高齢者用住宅と保育園などを一体化した施設の整備を進めて欲しい。
- ・古くから大学が立地している、歴史ある教育環境を大切にしていきたい。
- ・かえて通りの並木はすばらしい。お屋敷町の雰囲気が残っている。
- ・小学館は漫画家の登竜門となっており、一ツ橋二丁目周辺は漫画家の卵のたまり場になるなど、独特の賑わいがある。

三崎町一・二・三丁目

中高層の複合市街地として、隣接する飯田橋の再開発や後楽園との連携を進め、水道橋駅周辺の商業施設、出版等の業務施設と住宅が調和した、活気とにぎわいのあるまちをつくりま

水道橋駅周辺の商業振興や回遊性のある快適な歩行空間の整備を進めます。

また、駅については、地域の顔にふさわしいシンボル性のある駅舎への改良や、より安全に利用できる駅として整備・改善を要請していきます。

日本橋川に新たな橋を整備するなど、飯田橋再開発地区との連携を図ります。

3

2

中高層感の感じと商業・

西神田一・二・三丁目、
神田神保町一（一部）・二（一部）・三丁目（一部）

中高層の複合市街地として、高齢者センター・複合施設など、コミュニティ関連施設の集積を活かし、住宅と出版等の業務・商業施設、大学等の教育施設が調和した、災害に強いまちをつくりま

学生街のにぎわいと地域の活力を活かした、文化性豊かなまちづくりを進めます。

防災性の向上のため、災害時の安全性に配慮した建て替えや豊かな道路空間の創出を進めます。

4

神田神保町三丁目（一部）、一ツ橋二丁目

中高層の複合市街地として、印刷・製本・出版業から新たな情報・文化産業への転換を図り、これらの商業・業務施設とさくら通り沿道に集積した個性ある飲食店、教育施設と住宅が調和した、若者も引きつける活気あるまちをつくりま

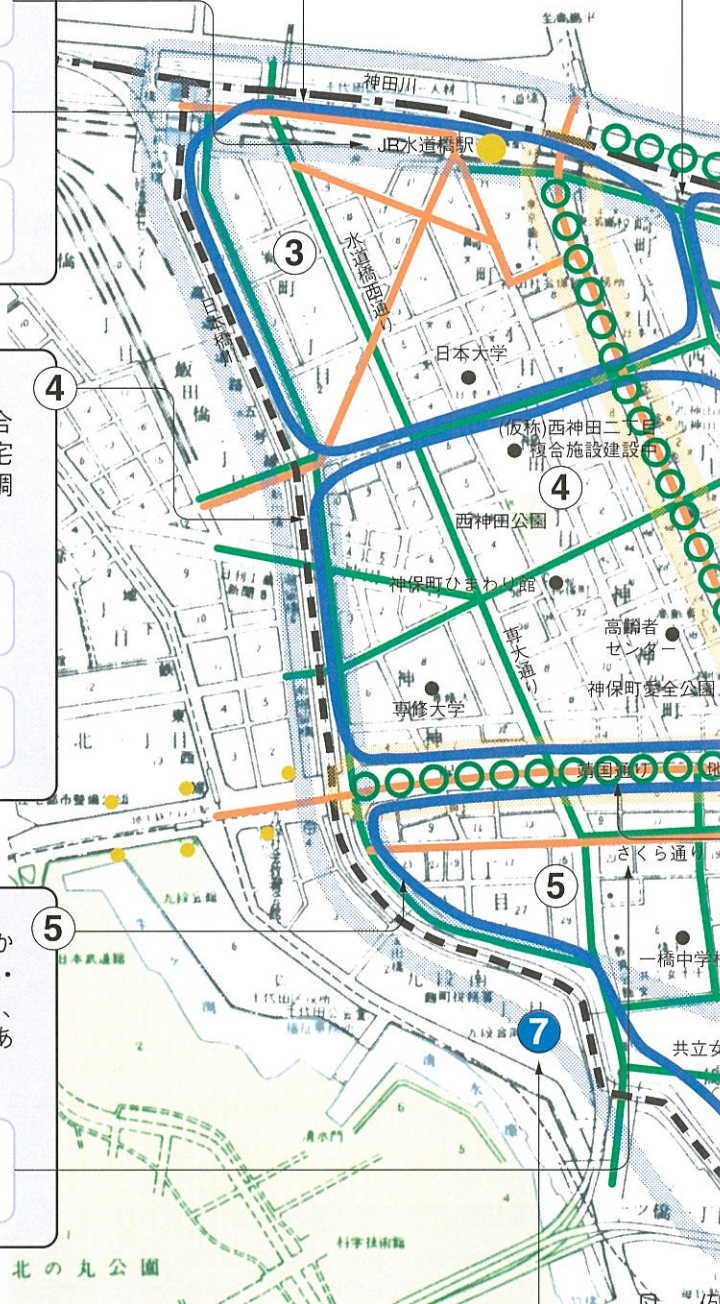
さくら通り沿道の個性的な飲食店などの集積をさらに進め、九段下へと連続させるとともに、快適な歩行空間整備により、周辺を含めたネットワークづくりを進めます。

5

日本橋川の親水性の向上や川と一体となった街並み、快適な歩行空間づくりを進めます。

再開発などの際に護岸の親水化、川沿いの緑化等を進めます。
川沿いの建物や構造物の形態を規制・誘導していきます。
川沿いに歩行空間やポケットパークなどの憩いの場の整備を進めます。
水質の向上を図るとともに護岸形態の工夫により、魚や昆虫が生息し、自然浄化できるよう努めます。
改修に伴う高速道路の地下化を要請していきます。

7



神保町地域

整備方針図

猿楽町一・二丁目

合市街地として、錦華・猿楽通りの生活
落ちついた街並みを活かしながら、住宅
教育施設等が調和したまちをつくります。

神田駿河台一（一部）・二丁目

1 全体的には中層の複合市街地として、駿河台の緑
が多く文化的なたたずまいを活かしながら、住宅と教育・
医療施設が調和した、落ちつきのあるまちをつくります。

斜面に残る緑地や身近な緑、オープンスペースを保全・
創出し、坂の多い地形を活かした緑豊かで良好な環境づ
くりを進めます。

教育施設は、地域のたたずまいに調和し、開放性を高
めるよう、機能更新を図ります。

8 神田川沿いの自然を活かし、魚や昆虫が生息し、また、
自然浄化がなされるよう努め、さらに、美しい街並み、快
適な歩行空間をつくります。

水質の向上を図るとともに護岸形態の工夫により、魚
や昆虫が生息し、また、自然浄化がなされるよう努めます。
川沿いの建物や構造物の形態を規制・誘導していきます。
川沿いに歩行空間やポケットパークなどの憩いの場の
整備を進めます。

9 表通りにふさわしい整えられた街並みの形成を進め、
自動車交通の抑制や街路樹等により騒音・大気汚染
等の沿道環境を改善するとともに、快適な歩行空間を
つくります。

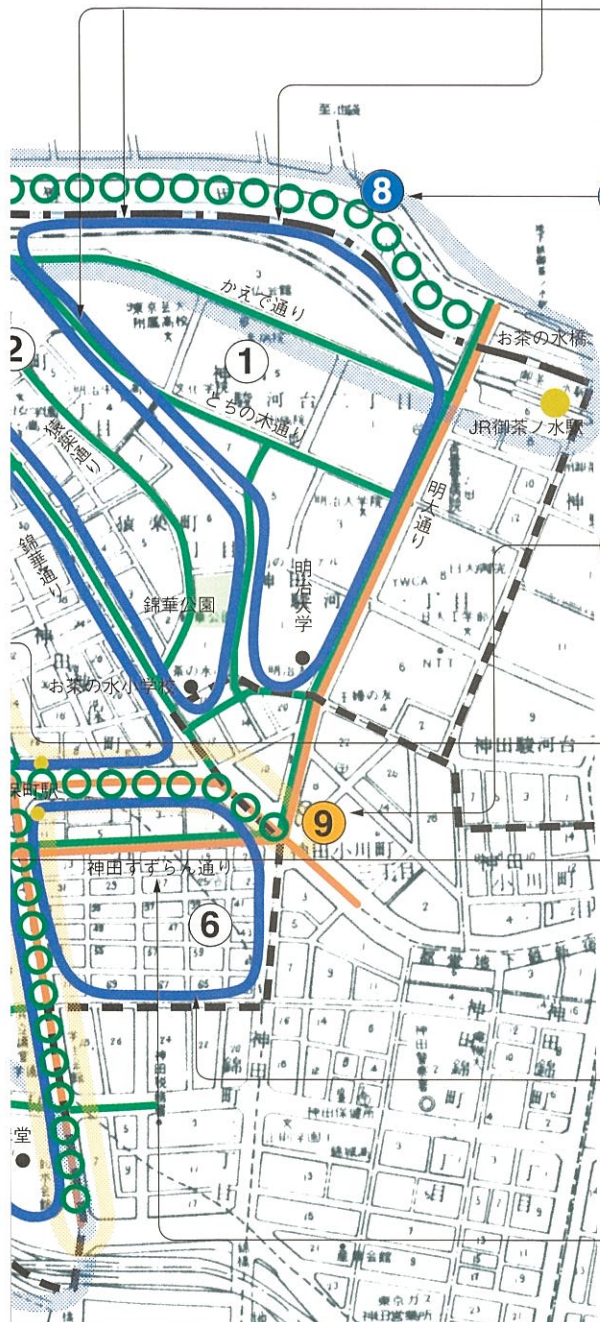
白山通りは、沿道の良好な市街地形成を進めながら、再開
発等に併せ、都市計画道路の整備を進めます。また、既存の
商店街を活かせるよう、回遊性と滞留性をもたせた快適な
歩行空間をつくります。さらに、緑の骨格として、沿道も含め
重点的な緑化を進めます。

靖国通り沿道は、神保町の顔としての書店街にふさわし
い景観づくりを進め、一層の活気とにぎわいを創出するよう、
回遊性と滞留性をもたせた快適な歩行空間をつくります。ま
た、緑の骨格として、沿道も含め重点的な緑化を進めます。


神田神保町一丁目（一部）

6 中高層の複合市街地として、印刷・製本・出版業や
書店街を活かした再開発を進め、個性的なまちの顔
をつくることと、すずらん通りの飲食店や商業・業務施
設と住宅の調和を図ります。

すずらん通り沿道では、散策や買い物の楽しめる、連続す
る魅力ある商業施設の整備を進めます。



的な緑化を進める、緑の骨格となる通り

 表通りゾーン

街並みの美しい、憩いの歩行空間を整備する通り

 水と緑のうるおいゾーン

の賑やかさとコミュニティを育むふれあいの
を整備する通り

 JR駅

 地下鉄出入口

 地区境界

 公園・緑地

 地域境界

 河川・濠

 区境界